

平成28年青森県人口動態統計(概数)の概況

<概要版>

調査結果のポイント

1 出生数・合計特殊出生率 出生数は6年ぶりの増加、合計特殊出生率は4年連続上昇

出生数 H26: 8,853人 → H27: 8,621人(▲232人) → H28: 8,626人(+5人) 【平成22年以来6年ぶり増】

合計特殊出生率 H26: 1.42(36位) → H27: 1.43(37位)(+0.01) → H28: 1.48(30位)(+0.05) ※全国 H28: 1.44(▲0.01)

【平成25年(1.40)から4年連続上昇、平成17年以来11年ぶりに全国平均を上回った】

2 死亡数・死亡率 死亡総数は増加

	死亡数(人)			死亡率(人口10万対)		
	H27	H28	増減	H27(順位)	H28(順位)	増減
総数	17,148	17,309	+161	1,314.2(5)	1,341.8(5)	+27.6
悪性新生物	5,035	5,033	▲2	385.9(2)	390.2(2)	+4.3
心疾患	2,582	2,566	▲16	197.9(12)	198.9(11)	+1.0
肺炎	1,766	1,759	▲7	135.3(5)	136.4(5)	+1.1
脳血管疾患	1,706	1,610	▲96	130.7(6)	124.8(9)	▲5.9

3 乳児・新生児・周産期死亡率 新生児死亡率・周産期死亡率が大幅な減少、5年単位でも改善傾向

乳児死亡率(出生千対) H27: 2.3 → H28: 2.1(▲0.2)

新生児死亡率(出生千対) H27: 1.5 → H28: 0.9(▲0.6)

周産期死亡率(出産千対) H27: 4.6 → H28: 3.0(▲1.6)

	乳児死亡率	新生児死亡率	周産期死亡率
平成19~23年	<u>2.52</u>	<u>1.32</u>	<u>4.57</u>
平成24~28年	<u>2.09</u> (▲0.43)	<u>1.15</u> (▲0.17)	<u>3.55</u> (▲1.02)

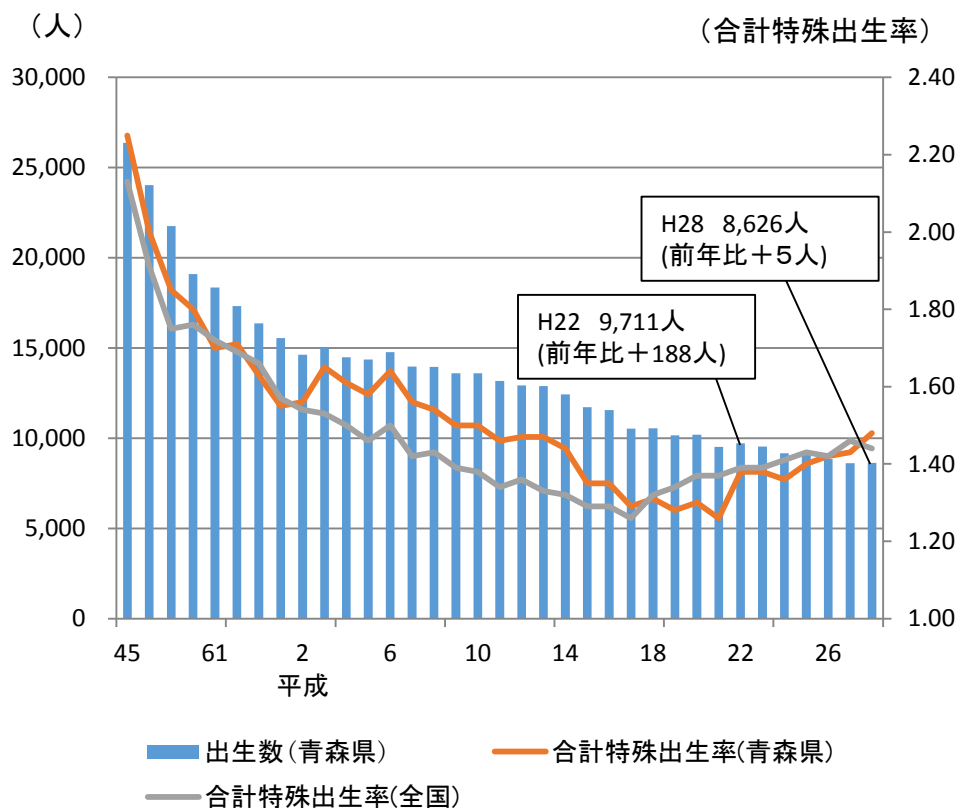
4 自殺者数・自殺率 自殺者数は7年ぶりの増加だが、過去最多(H15:576人)の半数以下を維持

自殺者数 H27: 267人 → H28: 271人(+4人) 自殺率 H27: 20.5(11位) → H28: 21.0(5位)(+0.5)

○出生数は6年ぶりの増加

○合計特殊出生率は4年連続上昇

出生数 H26:8,853人 → H27:8,621人(▲232人) → H28:8,626人(+5人)【平成22年以来6年ぶり増】
合計特殊出生率 H26:1.42(36位) → H27:1.43(37位)(+0.01) → H28:1.48(30位)(+0.05)
【平成25年から4年連続上昇、平成17年以来11年ぶりに全国平均を上回った】



【県の取組】

1 あおもり出会い協働プロジェクト事業

・民間と協働での結婚応援や、結婚したい男女の出会いの場づくりを推進

2 切れ目のない親子支援充実事業<29新規>

・妊娠期から子育て期までのデータを市町村等で情報共有できるシステムを構築し、切れ目のない支援体制を構築

3 魅力ある保育所等促進事業<29新規>

・保育所の職場環境改善及び保育サービスの充実に関する取組を評価し、満足度の高い保育を提供

4 家庭福祉対策教育支援貸付費補助事業

・大学進学にあたり必要となる入学金等の一時的費用の捻出が困難な世帯や、児童養護施設入所児童等に対し奨学金を貸付

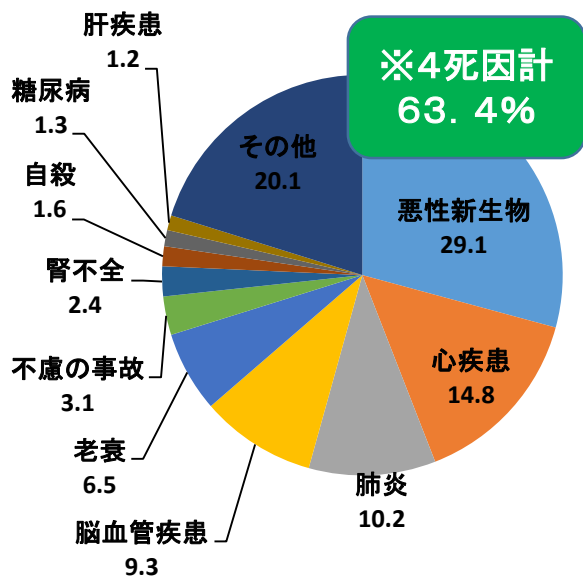
5 結婚から子育て応援企業支援事業<29新規>

・労働者の結婚から子育ての希望を実現する「働き方改革」の取組として、「あおもり働き方改革推進企業認証制度」の実施→「働き方改革」に向けた企業の取組を支援し、雇用環境の改善を推進

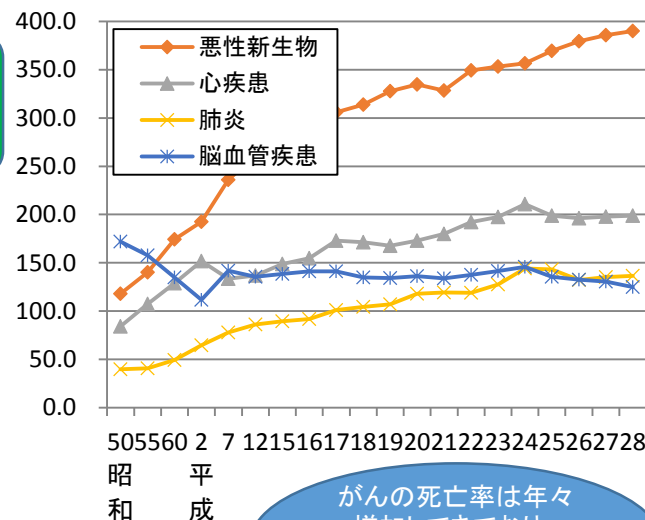
○死亡総数は増加

	死亡数(人)				死亡率(人口10万対)			
	H27		H28	増減	H27(順位)		H28(順位)	増減
総数	17,148	→	17,309	+161	1,314.2(5)	→	1,341.8(5)	+27.6
悪性新生物	5,035	→	5,033	▲2	385.9(2)	→	390.2(2)	+4.3
心疾患	2,582	→	2,566	▲16	197.9(12)	→	198.9(11)	+1.0
肺炎	1,766	→	1,759	▲7	135.3(5)	→	136.4(5)	+1.1
脳血管疾患	1,706	→	1,610	▲96	130.7(6)	→	124.8(9)	▲5.9

○平成28年死因別構成比



(人口10万対)



がんの死亡率は年々増加してきており、がん対策は引き続き重要な課題

【県の取組】

1 青森県健康経営認定制度の推進<29新規>

- 県内で「健康経営®」(*)に取り組み事業所を「青森県健康経営事業所」と認定し、働き盛り世代の健康づくりを推進

(*) 「健康経営®」：特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

2 がん登録データの活用によるがん検診精度管理モデル事業

- がん登録データの活用
 - 地域がん登録データとがん検診データの突合及び突合結果の調査・分析
- がん検診の精度管理研修会
 - 市町村に対し、がん検診の精度管理のための技術的支援を行う研修会を実施

3 大腸がん検診モデル事業<29新規>

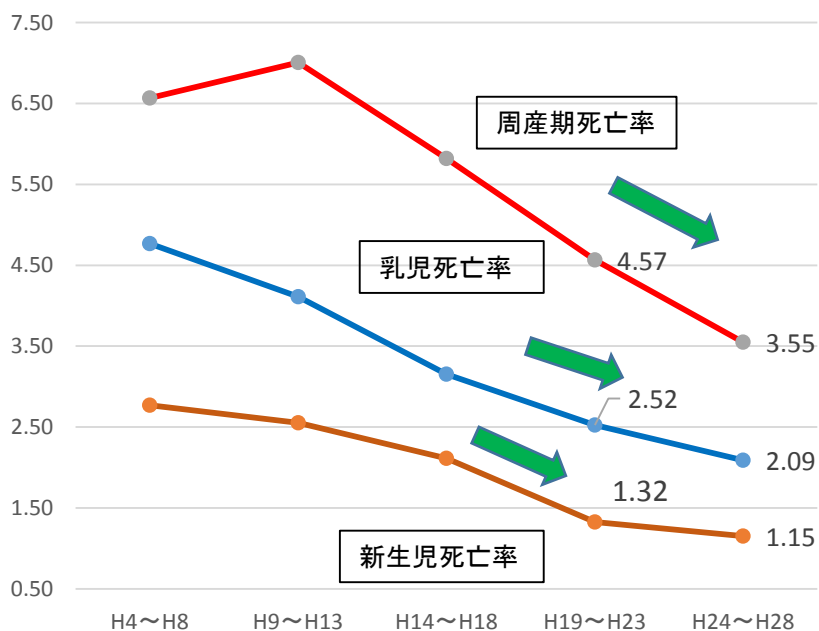
- 大腸がん検診受診率の向上
 - 検診未受診者への効果的な受診勧奨
- ハイリスク者のリスク検証
 - 検診未受診者への大腸内視鏡検査により、未受診であることのリスクを見える化

○新生児死亡率・周産期死亡率が大幅な減少、 5年単位でも改善傾向

乳児死亡率(出生千対) H27:2.3 → H28:2.1(▲0.2) 新生児死亡率(出生千対) H27:1.5 → H28:0.9(▲0.6)
 周産期死亡率(出産千対) H27:4.6 → H28:3.0(▲1.6)

	平成19~23年	平成24~28年
乳児死亡率	2.52 →	2.09 (▲0.43)
新生児死亡率	1.32 →	1.15 (▲0.17)
周産期死亡率	4.57 →	3.55 (▲1.02)

乳児・新生児・周産期死亡率推移(5年単位)



【県の取組】

1 青森県立中央病院総合周産期母子医療センター (平成16年10月から稼働開始)を中心とした「青森県 周産期医療システム」の運用

- ・総合周産期母子医療センター、地域周産期母子医療センター等の機能分担と連携による24時間対応可能な周産期の救急対応
- ・母体・胎児搬送及び新生児搬送、並びに母体胎児集中治療室(MFICU)、新生児集中治療室(NICU)等の確保を含めた周産期医療の提供が可能な体制

2 ハイリスク妊産婦への支援強化

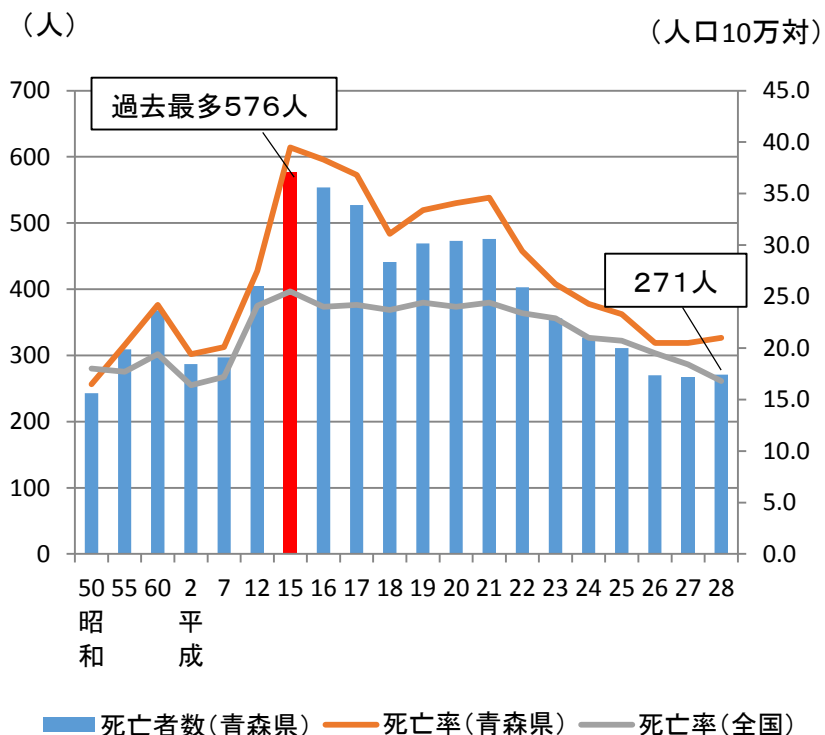
- ・周産期母子医療センターから遠方にあるハイリスク妊産婦が早期から安心して治療を受けられるよう、交通費等の支援体制を整備
- ・総合周産期母子医療センター(県立中央病院)を利用する患者・家族のための待機宿泊施設(ファミリーハウスあおもり)の施設機能の充実

3 切れ目のない親子支援充実事業(再掲)

- ・妊産婦や未熟児等のデータを一元管理できるシステム構築による関係者間の情報共有

○自殺者数は7年ぶりの増加だが、過去最多(H15:576人)の半数以下を維持

自殺者数 H27: 267人 → H28: 271人(+4人)
 自殺率 H27: 20.5(11位) → H28: 21.0(5位) (+0.5)



【県の取組】

1 これまでの取組

- ・自殺予防デーフォーラム開催による普及啓発
- ・ゲートキーパーの育成
- ・高齢者うつスクリーニングの導入促進 など

2 いのち支える包括的自殺対策事業 <29新規>

- (1) 戦略的自殺対策計画策定事業
 - ・県の自殺対策計画の策定、市町村の自殺対策計画の策定支援
- (2) ハイリスク支援強化事業
 - ・ハイリスク層(高齢者、壮年期男性、自殺未遂者)ごとのリスク要因に着目した支援
- (3) 包括的基盤強化事業
 - ・保健所単位での多分野合同研修会の実施
 - ・子どもたちがいざという時のSOSの出し方教育普及研修の実施